

さがみはら グリーン

Vol.13

平成10年10月4日発行
編集・発行者 / 財団法人相模原市みどりの協会
発行所 / 〒228-0828 相模原市麻溝台2317番地の1 市立相模原麻溝公園内
財団法人相模原市みどりの協会 ☎0427-77-2860

財団法人相模原市みどりの協会機関紙



古紙配合率40%再生紙を使用しています

いつのまにか公園にも、秋の爽やかな風が吹きはじめました。毎年好評のオータムフェアもいよいよ開催です。青空のもとで繰り広げられる、動物フェスティバルやコンサート、スケッチ大会など、おもしろいイベントが盛りだくさん。また、神奈川国体秋季大会も公園周辺の競技場で行われます。今年は秋をいろいろに楽しめよう。

秋の足音が聞こえてきました。



さがみはらきた公園 そうごう体育館 さがみはらあさみぞ公園

秋の大会 10月24日～29日



いよいよ、かながわ・ゆめ国体、秋の大会がはじまります。みどりの協会では、国体会場を花で飾る花づくりボランティアのお手伝いをしています。

'98オータムフェア 秋の動物フェスティバル 10/10(土)・11(日)

秋の動物フェスティバル
ポニーの無料乗馬、人形劇、モルモットレーン、馬てい投げなど11日(日) 9:30～15:30 ふれあい動物広場(参加無料) 雨天の場合は18日(日)に延期

オータムコンサート
相模原音楽家連盟「アンサンブルフリーゼン」
10日(土)1回目13:30～14:00 2回目14:30～15:00
1・2回とも芝生広場、雨天ふれあいドーム

竹トンボ講習会・竹馬試乗会
10日(土)・11日(日) 9:30～15:30 みどりの広場

かながわ・ゆめ国体 相模原1998 PRコーナー
PRパンフ配布、ぬいぐるみ
10日(土)・11日(日) 9:30～15:30 センター広場

花・植木・野菜等の展示・即売
10日(土)・11日(日) 9:30～15:30 センター広場

野菜類は水の広場

陶器、木工製品等の展示・即売
市内の地域作業所で作られている各種製品を展示・即売
10日(土)・11日(日) 9:30～15:30 水の広場

秋の公園スケッチ大会・展示会
子供の部(小学生以下)100名
一般の部(中学生以上)50名(先着順)
11日(日) 9:30～(スケッチ用具、弁当等各自持参)
作品展示は子供の部11日(日)・18日(日)一般の部は20日(火)～30日(金) 管理事務所1Fホール

秋時き種の無料配布
10日(土)・11日(日) 9:30～先着3,000名
忘れな草、スイートピーなど 管理事務所前

新潟県京ヶ瀬村特産品展示・即売
京ヶ瀬村の各種特産品の無料配布及び展示・即売
11日(日) 10:00～15:00 水の広場

園芸豆図鑑「スイセン」の無料配布
10日(土)・11日(日) 9:30～先着1,000名
管理事務所1Fホール

お問合せは 財 相模原市みどりの協会
TEL 0427-77-2860へ。



オータム
コンサート



相模原北公園

グリーントーク

街の緑は、できることから一つずつ。

相模原市の弥栄地区では、地域の緑化に積極的に取り組んでいます。同地区で長年にわたり自治会長を務めている佐々木徳一さん。「街をきれいにするのは、たくさんの力が集まってこそ」という佐々木さんに、実際の活動や街の緑について語っていただきました。



相模原市内、弥栄にある栄公園。きちんと手入れされた木々や草花に囲まれた公園は、地域住民の憩いの場となっています。佐々木さんにお話を伺うために公園を訪れたのはある平日の午後。小さな子どもを遊ばせているおおかあさんや、ひと時、木陰で涼をとる人たちの姿が見られました。

弥栄地区の緑化活動は、自治会だけでなく地区内の学校にまでおよび、大勢の人たちが街の緑化に力を入れていきます。また、この地区を訪れて驚いたのは、多くの民家の庭先に緑があふれていること。フェンスや窓辺にもさまざまな草花の鉢などが飾られ、道行く人の気持ちまで豊かにしてくれそうです。

「私の力ではありません。皆さんの力がなければなにもできないですから」と、と、緑化活動について淡々と語る佐々木さん。気負いもなく、もの静かなその語り口から、地域を大切に思う気持ちが伝わってきます。



公園の緑はトイレの設置がきっかけに

弥栄自治会は弥栄一丁目、二丁目の六百七十世帯からなっています。私が自治会長を務めるようになって十三年たちますが、もともと緑化活動に力を入れていたわけではありませんが、きっかけとなったのは、この栄公園のトイレなんです。

十年前まで、この公園にはトイレがなく、小さい子どもを遊ばせているおおかあさんたちからトイレの設置を望む声があり、市に要請してトイレができました。しかし、心無い人のいたずらがひんぱんにあって困っていました。そこである人が提案したのが「緑」です。トイレの付近に緑をたくさん植えれば、心もなごんでいたずらをするようなことは考えないのではないだろうか。そんなことから公園に木や草花を植えるようになったんです。

手入れはボランティアでやってくれる人がいます。そうした力を貸してくれる人がいて、地域がなりたっているんです。一生懸命やってくれる人たちに恵まれたと思っています。数人、地域にいいボランティアがいれば、あとは人が集まってきますし活動も広がっていくと思います。

トイレの方は緑の効果があつてか、今ではいたずらもなく人々に喜ばれています。仕事を外を回っている人なども利用するのじゃない、市の方へ『いつもトイレを使わせてもらってありがたいです』という礼状も届きました。



あいにくの雨天にもかかわらず、300名の方が参加された「クリーニンググリーン運動」でした。



三百人が集まるクリーニンググリーン運動

街の中の植栽帯や土手などに花の種を植える「クリーニンググリーン運動」は、今年で四周年になります。この運動は、弥栄中学校の校長先生が提唱したもので、生徒たちに緑の大切さを教えたい、との考えから始められました。生徒や先生、親、地域住民が集まって取り組んでいます。今年はいくの天候だったのですが、みなさんそれぞれに積極的にやってくれました。今年から小学校やシルバースター中央地区ボランティアグループも活動に加わってくれましたので、総勢で三百人ほどの参加者がありました。

今、地域の中でつながりが薄れてきている、と言われます。このような活動を通じて学校の先生方や子どもたちが地域と関わりを持つというところは、とても良いことだと思います。活動の中で緑に触れて学ぶこともあるでしょうし、地域のことや地域の人たちを知る機会にもなります。

公園の緑も、クリーニンググリーン運動もそうですが、このような街に緑を増やす活動というのは「みどりの協会」という母体があつてできることなんです。花の種や球根、苗木を配布してくれますし、さまざまな指導もしてくれます。だから街の緑のことは何でも協会へ行って相談します。地域で緑化活動をより活発にするために、このような組織が必要なんです。

住宅街にも見られるたくさんの草花

この地域には、緑が好き人が多いのでしようが、みんなで話し合ったわけでもないのに、たくさんのお家の庭先に花が植えてあったり、フェンスや窓辺に鉢植えやプランターが飾られていたりします。歩いていても、きれいに咲いている草花を見るのは気持ちがいいですね。四季折々の花の話題からコミュニケーションの輪も広がりますね。

市や協会も公園や沿道だけでなく、各家庭に花の種などを配布するなどして住宅街の緑にも力を入れてくれるといいと思います。

しかし、ひと口に緑といっても緑に対する考え方は人さまざまです。街路樹ひとつとってみても、街並がきれいになっていい、必要なものだ、と考えている人もいます。



弥栄、小池さん宅



佐々木 徳一（ささき とくいち）

一九七七年香川県高松市生まれ。七十二年（昭和四十六年）より相模原市弥栄在住。弥栄自治会長はじめ相模原市自治会連合会理事、中央地区自治会連合会会長、中央公民館副館長などさまざまな役職を務め、地域活動に尽力。

「花のまちづくり・みどりいっぱい運動」みどりの協会が行っている、都市緑化推進事業の一つ。自治会、子ども会、幼稚園等を対象に花の種、球根、苗木等を配布し、花のまちづくりを進めています。弥栄地区の緑化活動もこの事業によるものです。